



## 学校教育目標

「人を大切に、物を大切に、時を大切に」  
～発信力・行動力を身につけ、  
自己肯定感を得られる生徒の育成～

一人一人の全力疾走、応援席からの声援、清々しい笑顔、悔しさ溢れる表情、本当に気持ちのいい一日でした。時折降る雨で中断することもある中でしたが、緊張感を途切れさせることもなく、素晴らしい体育大会でした。また、合唱コンクールでも、それぞれの学級や学年の一生懸命取り組んできた様子が、客席まで伝わってきました。「感動をありがとう。」一生懸命ひたむきに取り組む姿は、人の心を動かします。そういった存在になれた自分たちに自信と誇りをもってほしいと思います。新しい出会いとともにスタートした4月。「出会い」が「感動」を生み、感動が人を動かす。感動はその一瞬だけの感情ではありません。この学校・学年・クラスでの出会いに感謝し、共に高め合える存在でいよう。



## 魂を磨く

稲盛和夫さんは、「私たち人間が生きている意味は、人生の目的はどこにあるのでしょうか。」という問いかけに「それは心を高めること。魂を磨くことにある。」と答えたいとおっしゃっています。「昨日よりましな自分であろう、今日よりよき明日であろう」と、日々誠実に努める。その弛まぬ作業、地道な努力、つつましく求道に、私たちの生きる目的や価値が存在するということです。また稲盛さんは「生き方」という著書に「心を磨くための6つの精進」について書かれています。

- (1) **誰にも負けない努力をする**…とにかく自分の決めたことをひたむきに続ける。不平不満を言うひまがあったら、1センチでも前へ進もうとする。
- (2) **謙虚にしておごらず**…謙虚な心が幸せを運び、魂を美しくさせる。
- (3) **反省の日々を送る**…日々の自分の行動や心の在りようを振り返り、自分のことだけのかんがえてはいないか、卑怯な振る舞いはしていないかなどを反省し、あれば必ず改めるよう努める。
- (4) **生きていることに感謝する**…生きているだけで幸せだと考え、どんな小さなことにも感謝する。
- (5) **善行、利他行を積む**…「善行」とは良い行いのこと。「利他」とは自分のことだけではなく、常に他者への思いやりの言動をこころがける。そのようにする人には、必ずよい報いがあるということ。
- (6) **感性的な悩みをしない**…いつまでも不平や文句を言ったり、くよくよと悩んだりしない。そのためにも全身全霊を傾けて（常に全力を尽くして）何事にも取り組む。



「出会い」相田みつを  
その時の出逢いが  
その人の人生を  
根底から変えることがある  
出逢いが  
人間を感動させ  
感動が人間を動かす  
人間を動かすものは  
むずかしい理論や理屈じゃない  
人間を根底から変えてゆくもの  
人間を本当に動かしていくもの  
それは人と人との出逢い